## 主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会 後援 文 部 科 学 省 令和6年度(第16回)管理会計検定試験 解 答 用 紙

[1]	1	2	3	4	5	6

## [2]

間1

(1)	配賦率	円/時
	製品Bに配賦される金額	円
(2)	製品Cに配賦される金額	円

間2

(1)	千円
(2)	%

問3

(1)	最適セールス・ミックス	A製品	個
	取週セールス・ミックス	B製品	個
	営業利益	円	
	1セットあたりの貢献利益額	円	
(2)	担关八叶下肥丰自	A製品	個
	損益分岐点販売量 	B製品	個

[3]

(1)	見積貸借対照表に計上する現金	円
(2)	見積貸借対照表に計上する売掛金	円
(3)	見積貸借対照表に計上する材料	円
(4)	見積貸借対照表に計上する支払手形	円
(5)	見積損益計算書に計上する売上高	円
(6)	見積損益計算書に計上する売上総利益	円
(7)	見積損益計算書に計上する販売費及び一般管理費	円

試験場校名	受験番号

【1】の得点	【2】の得点	【3】の得点	【4】の得点	【5】の得点	得点合計

	_	直接標準原価計算は	こよる損益計算書	_	(単位:円)
Ι	売 上 高			(	)
Π	標準変動売上原価				
	月初製品棚卸高	(	)		
	当月完成品製造原価	(	)		
	合 計	(	)		
	月末製品棚卸高	(	)	(	)
	標準変動製造マージン			(	)
${\rm I\hspace{1em}I}$	標準変動販売費			(	)
	標準貢献利益			(	)
IV	変動原価差異				
	価格差異	(	)		
	数量差異	(	)		
	賃率差異	(	)		
	作業時間差異	(	)		
	予算差異	(	)		
	能率差異	(	)		
	変動販売費差異	(	)	(	)
	実際貢献利益			(	)
V	固定費予算額				
	固定製造間接費	(	)		
	固定販売費及び一般管理費	(	)	(	)
VI	固定原価差異				
	固定製造間接費差異	(	)		
	固定販売費及び一般管理費差別	異 (	)	(	)
	営業利益			(	)

※不利差異の場合は、金額の前に△を付けること。

【4】の得点

【5】 問1	
(1)	A案を採用した場合の機会原価 億円
(2)	最大の利益をもたらす案とその場合の機会原価 案 億円
問 2	
(1)	購入したほうが 円 だけ( 有利 ・ 不利 )である。
	※解答にあたっては、カッコ内のいずれかを○で囲むこと。
(2)	購入価格が 円/個 未満であれば、購入に切り替えるべきである。
問3	
(1)	新規注文を引き受ける前の操業稼働率 %
(2)	新規注文を引き受ける前の営業利益
(3)	新規注文を引き受けたほうが、
	円 だけ (有利・ 不利 )である。
(4)	既存の顧客に対して、販売価格を 6,700 円に引き下げて新規注文を引き受けたほうが、
	円 だけ( 有利 ・ 不利 )である。
(5)	既存の顧客に対して,販売価格を 6,600 円に引き下げて新規注文を引き受けたほうが,
	円 だけ( 有利 ・ 不利 )である。